

電気安全

Web講習

8月1日(金) ▶ 10月31日(金)

17:00まで

今年も「Web講習」を実施します。

職場の皆さままで是非受講ください。

講習内容

第1部 電気設備に関する注意事項

第2部 低濃度PCB廃棄物の処理について

第3部 災害に備えて

※内容が一部変更となる場合があります。

全編

約30分

マスコットキャラクター

まもりタイガーくん

受講方法

お客さまポータルサイトから

ここをクリック

簡単に受講できます!

保安協会のWebサイトから

1 保安協会のWebサイトを表示します。

北陸電気保安協会

検索

https://www.hokuriku-dhk.or.jp

※通信料はお客さまのご負担となります。

2

ここをクリック

3 受講される方の情報を入力してください。

会社名

会社の電話番号

会社の住所

氏名(漢字)

メールアドレス

を入力してください

情報入力後、受講スタート

▶ クリックして動画を受講してください

※講習の最後にアンケートがありますのでご協力ください。

● 受講後、「修了証」が発行可能です。

また当協会の「お客さまポータルサイト」をご利用のお客さまは、受講の記録を行います。

でんきほあん

特集 令和6年度管内の電気事故について

お客さま訪問 / 足田産業株式会社さま（石川県）
2023年に金沢ロボットセンターを開設! 製造現場のFA化、DX化を支える補助金を活用した非常用発電機導入事例 / 社会福祉法人 自生園さま（石川県）
様々なリスク対策が経営には求められている
Focus～北陸かがやき人～ / 稲垣 貴彦さん
8月は「電気使用安全月間」です
高圧受電設備の改修・更新に関するお願い
電気安全Web講習

2025
盛夏号
No.305

キーワード

Key Word Quiz

クイズ

キュービクルや〇〇〇〇には、

高電圧の電気が充電されて

おり大変危険です。

(〇〇〇をお答えください)

正解者の中から抽選で 10名さま に

図書カード(1,000円分)を進呈いたし

ます。当選者の発表は図書カードの発

送をもってかえさせていただきます。

応募方法

協会Webサイトから応募ください。

北陸電気保安協会

検索

(スマートフォンからも応募できます。ハガキからの応募は受付けていません。)

1

クリック

2

「キーワードクイズ応募」

クリック

3

・クイズの答え

・氏名

・住所

・勤務先

・本誌へのご意見・ご感想

を記入の上、送信ボタンを押してください。

必須

必須

必須

応募締切

2025年9月30日(火)

※応募は、おひとり様1回限りです。

※ご記入いただいたお客さまの情報は、当選者への粗品送付及びご意見などへの回答目的にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

陽春号(No.304)の正解は ②①②⑥ でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

でんきほあん

2025 盛夏号 No.305

発行所 一般財団法人 北陸電気保安協会

〒930-0017 富山市東田地方町一丁目2番5号
TEL 076-441-6350

Challenge
100
4S

「でんきほあん」は当協会のWebサイトでもご覧いただけます。

富山地区本部 〒930-0996 富山市新庄本町二丁目9番98号 TEL 076-452-0515
高岡地区本部 〒933-0011 高岡市石瀬871番3 TEL 0766-23-8625
金沢地区本部 〒924-0014 白山市五歩市町400番 TEL 076-274-4580
七尾地区本部 〒929-2121 七尾市田鶴浜町り6番地1 TEL 0767-52-4393
福井地区本部 〒910-0003 福井市松本1丁目1番22号 TEL 0776-24-5626
丹南地区本部 〒916-0064 鯖江市下町1字大ノ木田10番 TEL 0778-62-2460

当協会の許可なくして複製・転載することはご遠慮ください。

UD Universal Design
Font

2025年(令和7年)7月1日発行
年4回発行 [4月・7月・10月・1月]

電気の安全と安心を守り続けます

一般財団法人 北陸電気保安協会

Hokuriku Electrical Safety Inspection Association

CONTENTS

- 03 8月は「電気使用安全月間」です
- 04 令和6年度管内の電気事故について
中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署
- 07 北陸電気保安協会からのお願い
- 08 補助金を活用した非常用発電機導入事例／社会福祉法人 自生園さま(石川県)
様々なリスク対策が経営には求められている
- 10 高圧受電設備の改修・更新に関するお願い
- 12 お客さま訪問／疋田産業株式会社さま(石川県)
2023年に金沢ロボットセンターを開設！製造現場のFA化、DX化を支える
- 14 Focus～北陸かがやき人～／稲垣 貴彦さん
年間3万人が訪れる三郎丸蒸留所、失敗を恐れない行動力で、ジャパニーズウイスキーの未来を拓く。
- 16 夏季の省エネに取り組みましょう
- 17 プロの仕事現場～検査員の体験から～／富山地区本部 藤井 洋輔
遮断器の経年劣化による停電事故の発生
- 18 「北陸電気保安協会ミライウムアカデミー」の取り組み
- 19 大阪・関西万博に電気事業連合会が出展！
- 20 電気安全Web講習



本号の表紙

富山県 立山町
称名滝

称名滝(しょうみょうだき)は、富山県立山町にある、落差日本一(350m)を誇る滝です。立山連峰を源流とする称名川が、弥陀ヶ原の溶結凝灰岩層をV字状に深く浸食した「称名廊下」の末端に位置します。雪解け水が多い春から夏の時期には、称名滝の左岸側に落差500mのハンノキ滝が現れ、二つの滝が同時に見られる壮大な景色は圧巻です。駐車場から約1.3km、徒歩約30分で行くことができます。

8月は「電気使用安全月間」です

8月は高温多湿であり生活や仕事の環境が厳しく、集中力の低下や軽装で水に接する機会が多く、感電等の電気事故が発生しやすい時期です。そこで、経済産業省主唱のもと、電気事故の未然防止を目的に、毎年8月を「電気使用安全月間」と定め、全国一斉に関係団体による電気の使用安全および電気事故防止の呼びかけをおこなっています。

電気は、便利なものですが、使用方法を誤ると火災や感電事故などにつながる大変危険なものです。

● 2025年度電気使用安全月間重点活動テーマ

- 見えない電気の危険を知り、配線やコンセントを見直すことで感電・火災を防ぎましょう
- 自家用設備は、適切な保守点検と計画的な更新で電気事故の未然防止に努めましょう
- 受変電設備に立ち入る際は、事前に電気主任技術者に連絡しましょう
- 無資格者の電気工事は法令違反です。必ず電気工事士の資格を持った方に依頼しましょう
- 地震、雷、風水害などの自然災害に備え、日頃から電気の安全に努めましょう

● 北陸電気保安協会の主な活動

1. テレビ、新聞、自治体広報誌、ポスターによる電気の安全使用に関する周知・啓発
2. 電気安全Web講習の実施
3. 電気安全教室の開催
4. 重要文化財や公共施設等の特別点検 他



電気教室



特別点検

防ごう電気火災！

お部屋のチェックで安全確保

プラグにほこりや湿気がたまると発火のきけん

コード内部の損傷で発火も！

断線 → 発火

断線のリスクも...

容量オーバーは発火のきけん

コードを引っばらない

2025年度 経済産業省 主唱

8月は電気使用安全月間です。

● 見えない電気の危険を知り、配線やコンセントを見直すことで感電・火災を防ぎましょう
● 自家用設備は、適切な保守点検と計画的な更新で電気事故の未然防止に努めましょう
● 受変電設備に立ち入る際は、事前に電気主任技術者に連絡しましょう
● 無資格者の電気工事は法令違反です。必ず電気工事士の資格を持った方に依頼しましょう
● 地震、雷、風水害などの自然災害に備え、日頃から電気の安全に努めましょう

電気の安全と安心を守り続けます
北陸電気保安協会
https://www.hokuriku-dnk.or.jp/

電気使用安全月間ポスター

低濃度PCB廃棄物 処理期限 令和9年(2027年)3月31日まで

古い電気機器はPCBにより汚染されている可能性があります。
汚染されていた場合は「低濃度PCB廃棄物」となり、定められた期限までに処分する必要があります。

出荷時点においてPCB汚染の可能性がある機器	
絶縁油の交換が可能な機器(変圧器等)	1993年以前
絶縁油封じ切り機器(コンデンサ等)	1990年以前

※メーカーにより汚染可能性機器の判別基準が異なります。



変圧器

高圧進相コンデンサ

＜注意＞
銘板確認のため通電中の電気機器に近づく感電の恐れがあり大変危険です。
また、通電中機器の絶縁油採取は停電する必要がありますが、一部機器は本体に穿孔して絶縁油を採取するため、機器の取替えが必要です。
詳細は当協会担当者までお問い合わせください。



管内の電気事故について

中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署

令和6年度に中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署管内（富山県、石川県、福井県及び岐阜県の一部）で発生し、電気関係報告規則に基づき報告された電気事故について取りまとめたので、その概要を紹介します。

① 全体概況

全体の件数は28件で、前年度に比べて19件の大幅な減少

主要電気工作物の破損事故の減少が主な要因〈第1表〉

第1表 令和6年度電気事故総括表(単位:件)

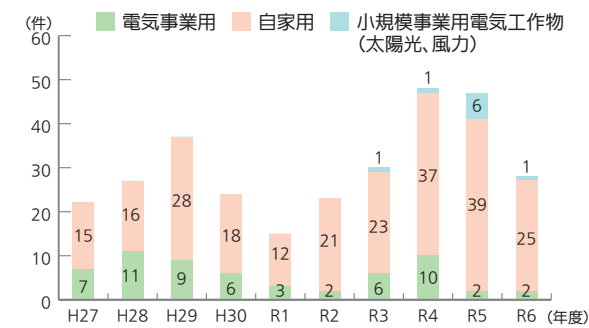
	令和5年度計				令和6年度計			
	電気事業用	自家用	小規模事業用	計	電気事業用	自家用	小規模事業用	計
感電死傷事故						1		1
感電以外の死傷事故								
電気火災事故								
社会的影響を及ぼした事故								
電気工作物に係る物損等事故						1		1
主要電気工作物の破損事故		22	6	28	1	4	1	6
発電支障事故	2			2	1			1
供給支障事故								
波及事故		17		17		19		19
ダムからの異常放流事故								
法第106条に基づく報告徴収								
絶縁油漏洩に係る事故								
計	2	39	6	47	2	25	1	28

※複数の項目に係る事故の場合は個別にカウントする

② 事故発生件数の推移

事故発生件数は能登半島地震の反動減により減少した

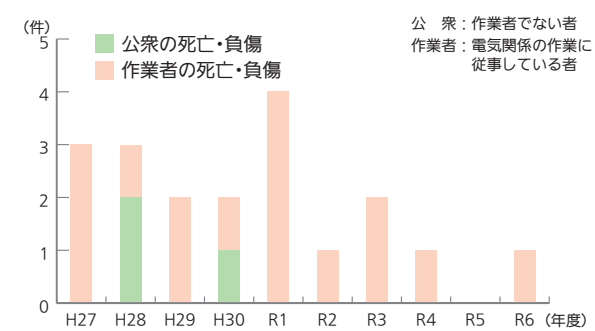
〈第1図〉



第1図 事故発生件数の推移(絶縁油漏洩に係る事故を除く)

③ 感電死傷事故

令和6年度は、感電死傷事故が1件発生した〈第2図〉



第2図 感電死傷事故の推移(被災者別)

〈発生した感電死傷事故の概要等〉

製造ライン配線移設作業中に発生した感電負傷事故

【事故発生場所】石川県	【主任技術者選任形態】外部委託
【事故発生月・天候】8月・曇り	【使用電圧】200V
【事故発生箇所】低圧盤	【事故原因】感電（作業者）作業準備不良
【被害内容】左手電撃傷	【経験年数】28年

〈事故概要〉

- 被災者は、当該事業場社員から、電気工事を請け負った電気工事業者社員であり、既設低圧分電盤（以下、分電盤 No.1）から製造ライン用として配線していたものを別の既設低圧分電盤（以下、分電盤 No.2）から配線する移設作業を1人で行っていた。
- 分電盤 No.2 ブレーカーをオフとしていたため、分電盤 No.1 も同様オフとなっていると思い込み、分電盤 No.1 がオンの状態で電気配線の取り外しを実施しようと工具を充電部に接触させたため感電した。
- 被災者はヘルメット、作業服、安全靴を着用していた。

〈事故原因〉

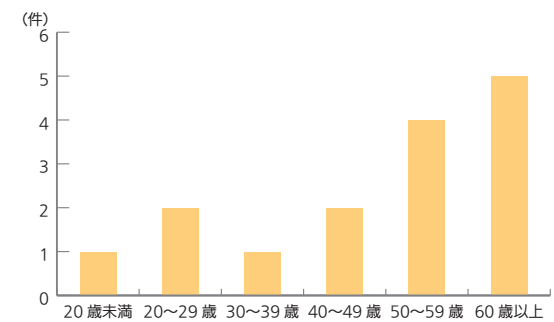
- 作業前に図面等を用いて停電範囲の確認を行っていなかった。

- 電気配線の取り外しを実施する前に低圧検電器による通電確認を行っていなかった。
- 低圧部（200V）の軽微な工事であるとの認識から電気主任技術者へは未連絡であった。

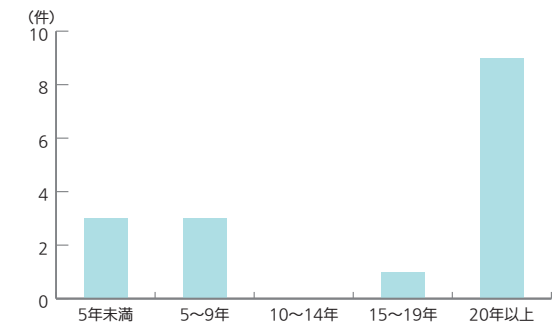
〈再発防止〉

- 作業前に必ず図面等を用いて停電範囲の確認を行う。
- 作業の際には2名以上で低圧検電器を用いて通電確認を行う。

過去10年間では、比較的经验を積んだ高齢者の事故が多く発生〈第3-1図、第3-2図〉

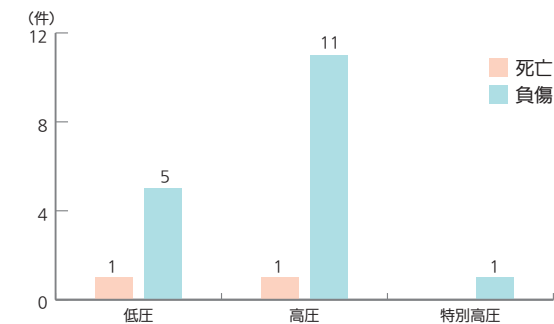


第3-1図 感電死傷事故における作業者の年齢別構成（H27～R6年度集計）



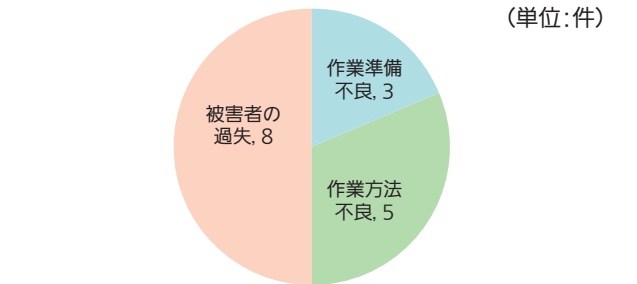
第3-2図 感電死傷事故における作業経験年数（H27～R6年度集計）

過去10年間では、高圧における事故が最も多いものの、死亡事故については、高圧に限らず低圧でも1件発生〈第4図〉



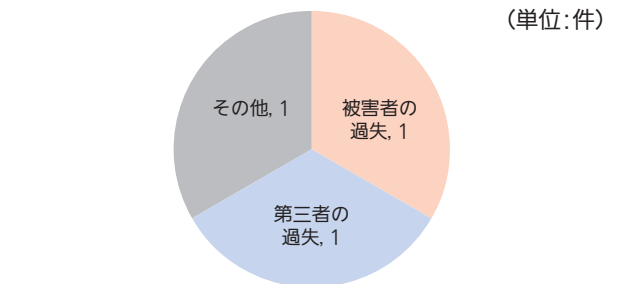
第4図 感電死傷事故に係る事故電圧別死傷者数（H27～R6年度集計）

過去10年間では、被害者の過失や作業者の作業方法不良による事故が多い〈第5-1図〉



第5-1図 作業者の感電死傷事故原因（H27～R6年度集計）

公衆でも過失（被害者、第三者）による事故が起きている〈第5-2図〉

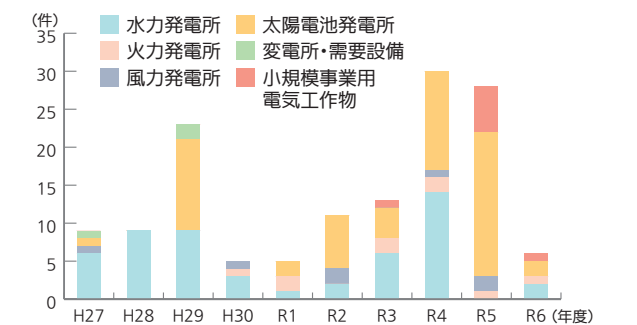


第5-2図 公衆の感電死傷事故原因（H27～R6年度集計）

④ 主要電気工作物の破損事故

令和6年度は、主要電気工作物の破損事故が6件発生

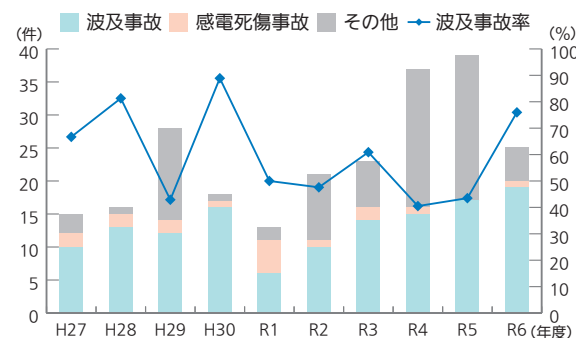
内訳は、太陽電池発電所が2件、小規模事業用電気工作物が1件、水力発電所が2件、火力発電所が1件であった〈第6図〉



第6図 主要電気工作物の破損事故の推移

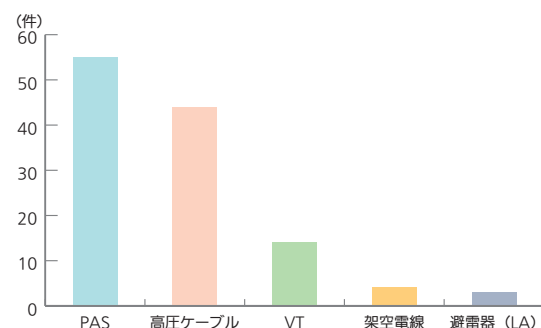
⑤ 波及事故

自家用で発生した事故25件のうち、波及事故は19件
過去10年間では、波及事故の占める割合が大きい
〈第7図〉



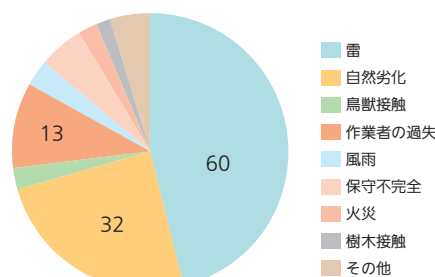
第7図 自家用事故種別と波及事故率

波及事故発生の電気工作物はPASが最も多い〈第8図〉



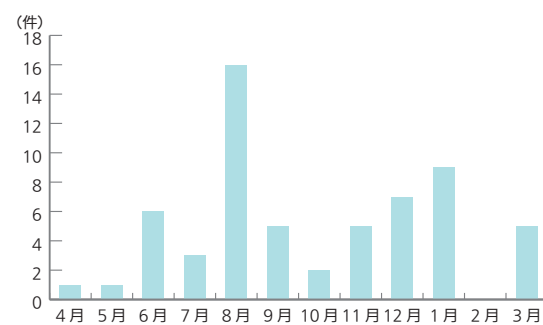
第8図 波及事故発生の電気工作物内訳
(H27～R6年度集計)

令和6年度の波及事故は、雷に起因するものが7件で最も多い
過去10年間でも、「雷」に起因するものが最も多い
〈第9図〉



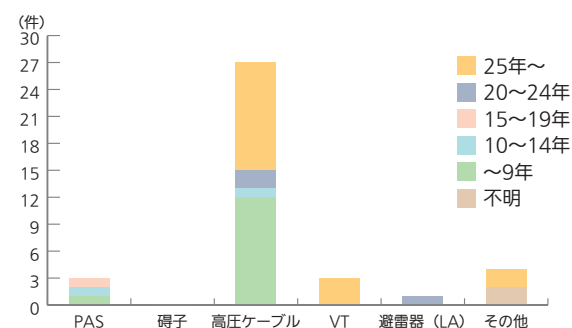
第9図 波及事故原因 (H27～R6年度集計) (単位: 件)

雷の被害は夏期に加え、冬期にも多発している〈第10図〉



第10図 雷による波及事故の月別発生件数
(H27～R6年度集計)

過去10年間では、事故原因が自然劣化・保守不完全であった電気工作物のうち68%が「高圧ケーブル」で発生しており、日頃の点検はもとより、計画的な設備更新が重要であることを示している〈第11図〉



第11図 「自然劣化」「保守不完全」における電気工作物の使用年数 (H27～R6年度集計)

⑥ 終わりに

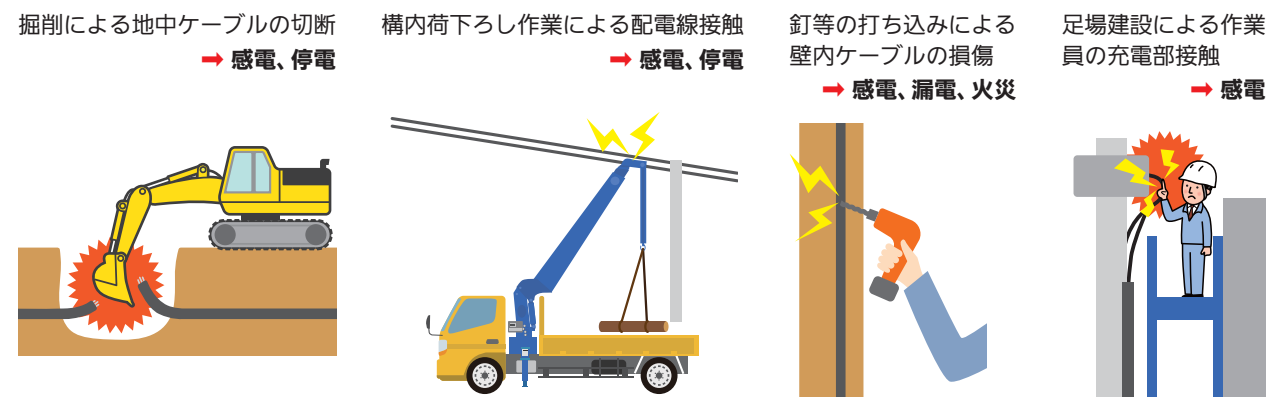
設置者をはじめ電気の保安を担う方々におかれましては、自社の電気工作物施設並びに保守・保安体制を再確認され、事故の未然防止と電気工作物のより一層の安全性・信頼性の向上に努めていただくようお願いします。

北陸電気保安協会からのお願い

工事等を行う際の事前連絡のお願い

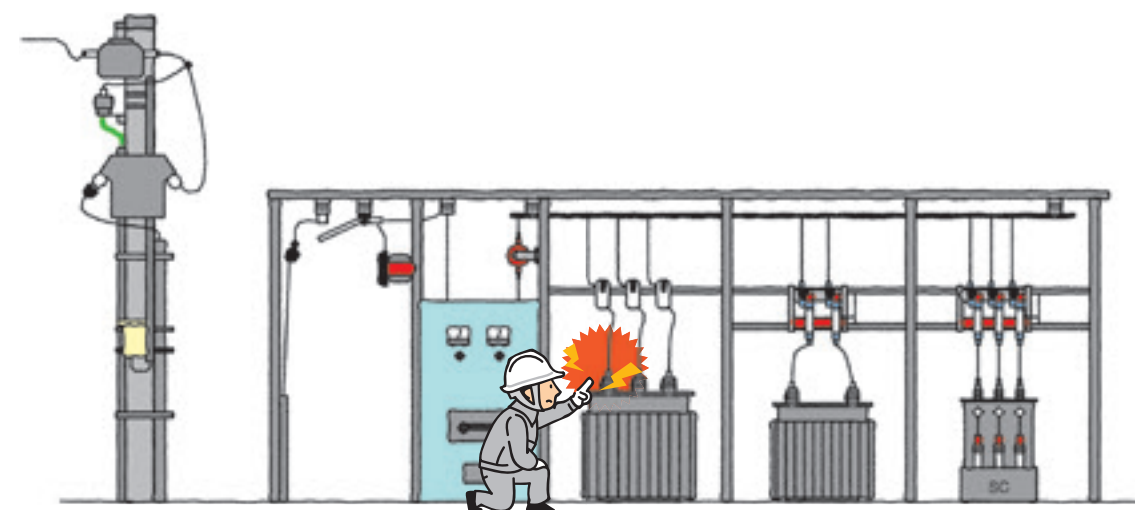
お客さま設備の改修工事等の際、一見、電気とは関係ないような工事でも、感電や漏電など電気事故が発生することがあります。電気工事に限らず、掘削工事や内外装工事等のご計画がございましたら、**事前に当協会の担当検査員へご連絡、ご相談いただきますよう、お願いいたします。**工事の内容によっては担当検査員から立ち合い、助言等のご案内をさせていただきます。

事故例



電気室等への立ち入りに関するお願い

キュービクルや電気室には、高電圧の電気が充電されており大変危険です。感電の恐れがありますので、電気設備のトラブルが発生した場合においても、キュービクルや電気室には絶対に立ち入ることのないようお願いいたします。電気設備にトラブルが発生した際は、「お客さま故障受付センター」にお申し付けください。



自然災害などによる停電リスクに備える 補助金を活用した非常用発電機導入事例

社会福祉法人 **自生園**さま (石川県小松市)

様々なリスク対策が経営には求められている

近年、新型コロナウイルスの流行や自然災害の頻発・激甚化していることを背景に、2024年4月から医療機関と同様に介護施設・事業所でもBCP策定が義務付けられています。これをきっかけに「社会福祉法人 自生園」では当協会の「SmartH・総合防災サービス」を通して非常用電源設備を導入されました。2024年は令和6年能登半島地震が発生した年でもあり、高島総務部長は災害ボランティアの際、現地の状況を目の当たりにしたことが導入への判断に大きく影響したと語ります。その経緯や今後の活用についてお話を伺いました。



社会福祉法人 自生園
総務部 事務長 高島 健さん

能登半島地震で現地支援、非常用電源の必要性を実感

最初に北陸電気保安協会さんから定置型発電機設置による非常用電源確保のご提案をいただいたのは2022年頃でしょうか。BCP策定が義務付けられることもあり、その実効性を高める手段として導入のお話がありました。非常時の電源確保の必要性は十分認識していましたが、導入費用を考えるとまずは無理なく出来る手段・範囲での対応も選択肢としてありました。しかし、その気持ちが大きく変わるきっかけとなったのが能登半島地震です。多くの介護施設が被災し、私たちは災害福祉支援チームDWATとして現地支援を行いました。現地での状況を目の当たりにしたことで、非常用電源確保は優先すべきと強く感じ、速やかな導入を決断しました。大災害時に関わらず停電は発生します。電気が使用できないことで人命への影響が出ないとは限りません。当施設は地域の福祉避難所でもあるため、その責任を果たす義務がありますので、実際に導入した今は、他ではまかなえない安心感があります。

夏の猛暑を想定、ガスを燃料とした空調も確保

導入にあたり、絶対条件としたのが停電時に3日間の必要電源は供給出来ることです。全エリアで電源確保は難しいと判断し、それでも能登での震災を教訓に電源供給可能な範囲を当初計画より拡大し、養護(盲)老人ホーム、特別養護老人ホームの本館・新館にLPガス非常用発電機をそれぞれ設置することにしました。また冬の寒さ以上に、昨今の夏場の異常な暑さには入所者は耐えられないと想定し、選定した共用エリアにGHP(LPガスで駆動する空調システム)の設置もすることとしました。長時間の停電が予想される時は、寝たきりや室温管理が必要な入所者は共用エリアへ移り、介護する計画としています。ガスは長期保管が可能でし、普段から使用している燃料でもあります。食事の面でも停電時でも一部の厨房機器が稼働でき、冷凍保存している料理を調理して提供できます。

補助金に採択、導入コストの約半分をカバー

まず今回は非常用発電機導入に補助金が利用できることは大きな後押しとなりました。

北陸電気保安協会さんには、発電機がカバーするエリアや使用設備の検討から、GHP設置と従来からあるEHP(電気で駆動する空調システム)の使い分け、コンセントの位置までベストな環境を整えるための助言をいただきました。停電時には電源切替盤で利用できる電源範囲を切り替えますが、職員間で共有できる操作対応などのマニュアル作成や防災訓練などを通じて非常時の動きを確認、対応熟度



をあげ、緊急時に備えたいと考えています。導入にあたり、令和6年度自衛的燃料補助金(経済産業省)に採択され、北陸電気保安協会さんをお願いすることが決定。対象費用の2分の1を補助金で賄うことができました。

地域になくてはならない福祉施設であり続けたい

高齢化社会が進み、福祉施設の重要性はさらに増してくるでしょう。私たちは社会のニーズを敏感にとらえ、地域の皆さんに必要とされ続ける存在でありたいと思っています。これまでもITやIoTを導入し、介護サービスの向上に取り組んできましたが、さらなる成長を目指し、2025年には10年ビジョンプロジェクトを立ち上げました。今後もDX化やハード面での修繕、職員の成長を通して、入所者と介護者双方が安心して過ごせる環境を整えていきたいと考えています。

近年、各地で地震や土砂災害などが発生し、“万が一のこと”がいつ起こるかわからないと感じています。今回、非常用電源を導入できたことは命を預かる施設として大きな安心が得られたと思っています。北陸電気保安協会さんには今後も私たちの課題解決と成長に寄り添っていただければと思います。

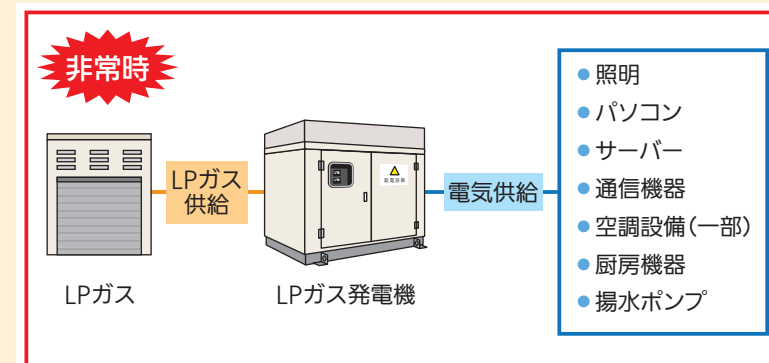


LPガス発電機

今回導入した非常用電源設備 (BCP対策)

〈設備概要〉

- ・BCP対策用LPガス発電機 54kVA 3台
- ・LPガス供給設備 (※LPガスボンベにて貯留)
- ・電源切替盤 3基
- ・GHP 室外機1台 室内機5台



〈スケジュール〉

- 2022年10月 北陸電気保安協会より非常用電源確保の提案
- 2023年3月 設置エリアの選定など希望内容をヒアリング、検討
- 2024年1月 能登半島地震を受けて、照明など追加の提案
- 2024年9月 補助事業の採択を受け、当協会が受注
- 2024年10月 工事開始
- 2025年1月 工事完了

社会福祉法人 自生園 (石川県小松市)

真言宗別格本山・那谷寺を設立母体として、1981年に開設。「困っている人を助けたい」という慈悲の心を大切にし、実践する社会福祉法人です。目が不自由な方を対象とした石川県内唯一の養護(盲)老人ホームのほか、特別養護老人ホーム、グループホーム、多機能サービス(好楽庵、為楽庵)などがあり、通所介護・ショートステイ、訪問入浴介護にも対応しています。近年ではITやIoTを使った先進的な介護サービスを行い、利用者と介護者がともに快適に過ごせる介護環境を追求しています。

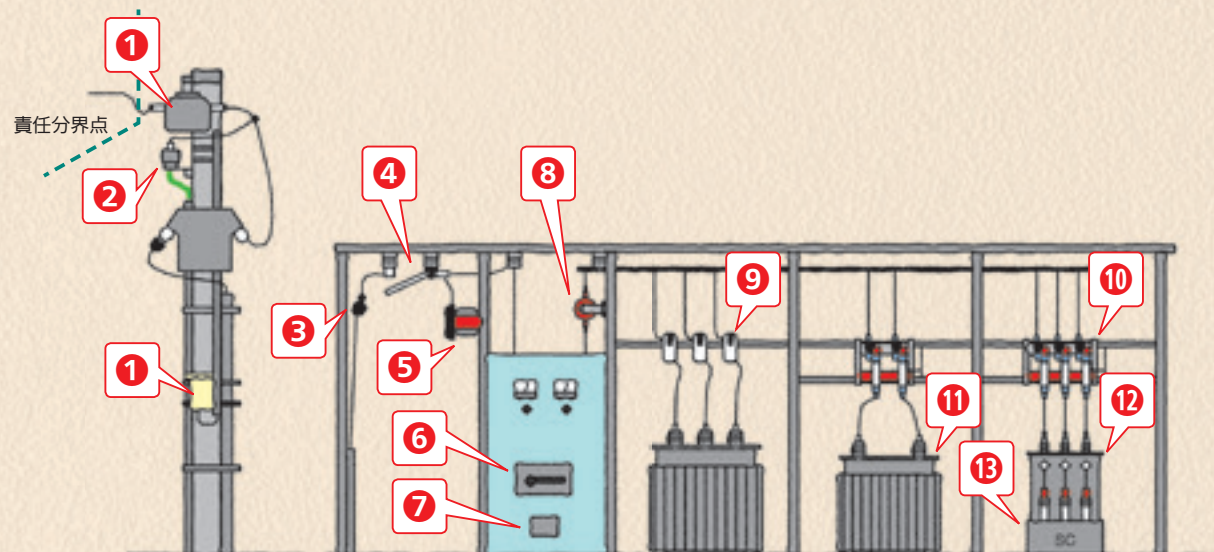


〒923-0331 小松市上荒屋町4番地10
【TEL】0761-65-1800 【FAX】0761-65-1837
【URL】<https://jishoen.com/>

高圧受電設備の改修・更新に関するお願い

高圧受電設備は、長期間使用すると経年劣化により機能や性能が損なわれ、電気火災や感電、波及事故など重大な事故につながる場合があります。当協会では、事故未然防止のために、お客さまが現在ご使用している高圧受電設備の状態や製造年等を把握し、電気設備の計画的な更新をご提案しております。

当協会による設備更新のご提案や下図に示す各機器の更新推奨時期を参考に、適切な設備更新をお願いいたします。また、お客さまの電気設備で不具合箇所等が発見された場合は、お客さまが安心して電気をお使いいただけるよう、当協会が最適な改善方法をご提案いたしますので、速やかな改修をお願いいたします。



① 高圧気中開閉器 (地絡保護継電器含む)

【用途】電力会社とお客さまの責任分界点に設置し、地絡保護継電器と組み合わせて地絡事故が起きた時に、波及事故(付近一帯が停電する事故)を防止する重要な機器です。



更新推奨時期
15年

② 高圧避雷器

【用途】雷などで生じる異常電圧から高圧設備を保護する目的で設置します。屋外に施設されているため破損事故の発生が多い区分開閉器の直近に設置して高圧設備の破損を最小限にします。



更新推奨時期
25年

③ 高圧ケーブル

【用途】責任分界点に設置した高圧気中開閉器から、キュービクルや電気室へ電気を安全に送るために使用されます。



更新推奨時期
20年

④ 断路器

【用途】停電して高圧回路の点検や工事を行うため、電路から切り離す場合など充電された電路を開閉する機器です。



更新推奨時期
25年

⑤ 計器用変圧器

【用途】高圧回路の電圧を変圧し電圧計の表示や継電器の電源供給が目的で小容量の変圧器です。



更新推奨時期
25年

⑥ 高圧真空遮断器

【用途】負荷電流の開閉や過負荷や短絡などの過電流を遮断する機器です。保護継電器と組み合わせて事故波及を防止します。



更新推奨時期
20年

⑦ 保護継電器

【用途】受電設備の高圧回路の異常を感知する装置です。地絡、過負荷や短絡、電圧低下等を感知するものがあります。



更新推奨時期
25年

⑧ 計器用変流器

【用途】高圧回路に流れる電流を変流し電流計の表示や過電流継電器を動作させます。



更新推奨時期
25年

⑨ 高圧カットアウト

【用途】主に 300kVA 以下の変圧器や 50kVar 以下のコンデンサの電路開閉及び過負荷、短絡保護のために設置します。



更新推奨時期
25年

⑩ 高圧交流負荷開閉器

【用途】300kVA 以下の受電設備の主遮断器や変圧器、コンデンサ等の保護用開閉器として限流ヒューズと組み合わせて事故の波及を防止します。



更新推奨時期
20年

⑪ 変圧器

【用途】高圧の電気を低圧に変換します。



更新推奨時期
25年

⑫ 直列リアクトル

【用途】突入電流や高調波の抑制のために進相コンデンサに直列に設置します。



更新推奨時期
25年

⑬ 進相コンデンサ

【用途】回路の力率改善を目的で設置します。



更新推奨時期
20年

〈参考〉経年劣化により絶縁破壊した高圧ケーブル



当協会では高圧受電設備の改修工事も実施しておりますので、改修の依頼先にお困りの際はご相談ください。



お客さま訪問



2023年に金沢ロボットセンターを開設！ 製造現場のFA化、DX化を支える

足田産業株式会社さま

製造業が集積する北陸において、商社としてそのものづくりを支えてきた足田産業株式会社。商社という枠を超え、顧客の課題に細やかにアプローチする提案型営業を強みに、信頼を得てきました。2023年には金沢ロボットセンターを開設し、地元企業のFA化・DX化に貢献しています。



DX×コミュニケーションスキル、 提案型営業で付加価値を提供

機械部品や工作機械、工業用資材などを扱う商社、足田産業株式会社。創業は1907年、鉄工所としてスタートし、その後商社へと事業転換してきました。同社の強みは、商社という枠組みを超えて顧客の課題にアプローチする提案型営業というスタイルです。例えば、部品や機械のオーダーがあった際、製造工程の省人化やコストカットの実現、生産管理や在庫管理のしやすさなどさまざまな視点で付加価値ある提案をしています。営業担当者たちは、一人ひとりが「モノづくりを支える力」として誇りを持ち、お客様と一緒に製造現場の未来をみつめています。今後は営業戦略におけるDX化を進め、顧客管理や個人に蓄積されたノウハウを“見える化”する営業支援システムを活用することで、さらに細やかな営業提案を目指していきます。

自社がモデルケースとなり FA化、DX化を推進

近年、製造業において人手不足は共通の課題です。同社ではその課題解決に向けて自動化、省人化、デジタル化を推進するチームを発足し、製造現場の改革をサポートしています。同社自身がそのモデルケースとなるべく、いち早くDX化を推進。ペーパーレス化をはじめ、ソフトウェアによる作業効率化を図るシステムRPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）を導入し、入力作業の自動化など業務の効率化を進めてきました。2024年にはこれらの取り組みが評価され、経済産業省のDXセレクション2024において、優良事例企業として、石川県内では初の表彰を受けました。

2025年からは倉庫内の自動搬送システムが稼働予定です。パソコンで指示を出せば、無人搬送車が倉庫内から自動で商品をピッキングします。数台の無人搬送車はQRコードを読みと

りながら動き、衝突することはありません。倉庫内を縦に広く使うことで上部空間にも商品を収納し、限られたスペースを有効活用できています。

ロボットの導入を後押しする 金沢ロボットセンターを開設

2023年、製造現場のFA化、省人化に貢献するため、金沢ロボットセンターを開設しました。ショールームには産業用ロボット7台とAGVシステム1台を展示。ロボットハンドの搬送テストができるハンドリングラボも備えています。講習室では労働安全衛生規則に基づく特別安全教育プログラムを実施しており、ロボットの導入から技術者の教育、アフターフォローまでを引き受けるシステムが確立され、これまで多くの企業が利用しました。

変わっていくことをいとわず、FA化、DX化のモデルケースとなっている同社。北陸の製造業の可能性を広げる上で、なくてはならない存在です。



- ① 人の労働負担を大幅に軽減する自動搬送システム
- ② ロボットの展示は入れ替えが行われ、“新鮮なショールーム”を目指す
- ③ ロボットセンターでの講習は少人数で行われ、ロボット操作の体験も可能

お客さまからひとこと

北陸電気保安協会様には、弊社の電気設備の保守点検にご尽力いただき、誠にありがとうございます。貴協会の皆様による24時間体制でのきめ細やかな保安業務のおかげで、日々安全に電気を使用できておりますことを心より感謝申し上げます。今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



足田産業株式会社



白山本社
〒924-0004 石川県白山市旭丘4-11
TEL：076-275-7531
FAX：076-275-7444
<http://www.hikida.jp/>



Focus

～北陸かがやき人～

年間3万人が訪れる三郎丸蒸留所、
失敗を恐れない行動力で、
ジャパニーズウイスキーの未来を拓く。



若鶴酒造代表取締役社長兼 CEO
／三郎丸蒸留所マスターブレンダー兼マネージャー
稲垣 貴彦さん
Takahiko Inagaki

生年月日：1987年7月24日

出身地：富山県砺波市

趣味：溪流釣り

経歴：2022年に若鶴酒造代表取締役社長兼CEOに就任。自らの経験を生かし、蒸留所のコンサルティングや世界的なウイスキー品評会の審査員、映画『駒田蒸留所へようこそ』のウイスキー設定監修などを行う。

160年以上続く老舗蔵元・若鶴酒造の5代目であり、同蔵のウイスキー事業を再興したことで注目されている稲垣 貴彦さん。三郎丸の地から世界へ、ジャパニーズウイスキーの魅力を発信しています。

若鶴酒造へ入社されるまでは？

大阪大学を卒業した後、東京の外資系IT企業で働いていました。いずれは家業を継ごうと思っていましたが、その前に酒づくりとは違う世界を見ておきたいという思いがありました。実家である若鶴酒造へ戻ったのは、2015年で、28歳の時。富山は伝統工芸などものづくりが盛んな地で、そこに惹かれたというのも帰郷の理由ですね。私自身、子どもの頃からものづくりが好きで、電子工作や皮細工、裁縫も得意です。“理想のモノは自分でつくる”という発想が自然と身についており、自分の手腕でもものづくりをしたいという思いが強くなりました。

ウイスキー事業の再興について教えてください

私が若鶴酒造へ戻った当時、ウイスキー事業の売上は当社全体の5%ほど。高級品も、二級品もすべて「サンシャイン」という同一銘柄で販売していました。地元ですら知名度が低く、悔しかったですね。ただ、戦後すぐの1952年に曾祖父である稲垣 小太郎がウイスキー事業を始め、70年以上もの歴史があるので、“磨けば光る”とも思いました。再興をしようと帳簿を調べていると、曾祖父が1960年に蒸留したモルト原酒があることを知り、飲んでみたらおいしさを超えた衝撃があつて。それをシングルモルトウイスキー「三郎丸1960」として販売したところ大反響を呼びました。熟成期間である55年間にちなみ、価格を55万円に設定。販売予定数の4倍もの公募があり、現在はプレミアム商品になっています。ここから当社のシングルモルトウイスキー「三郎丸」の歴史が始まりました。当時はまだめづらしかったクラウドファンディングにも挑戦し、再興資金を得られたこともはずみになりましたね。



老朽化が進んだ蒸留所を改修し、2017年には三郎丸蒸留所として再スタートしました。伝統と革新から生まれた三郎丸のスモーキーなウイスキーは、世界でファンを獲得しています。

三郎丸蒸留所の特徴と魅力とは？

蒸留所とシングルモルトウイスキーの銘柄に「三郎丸」と名付けたのは、地元である三郎丸(地名)への感謝の思いがあったからです。蒸留所がこの地へ足を運びきっかけになればと思い、一般公開も始めました。今では年間3万人以上が全国、海外からも見学に訪れています。

蒸留所の見どころのひとつが、ZEMONという鋳物製蒸留器(ポットスチル)です。ウイスキーの蒸留器は銅製が常識ですが、当社ではかつてステンレス製蒸留器の一部のみを銅製に改造したものを使用しており、味の改良にはその更新が必要でした。しかし、メーカーに発注すると、納品は数年後という返事でした。そこで思いついたのが、富山の伝統産業・高岡銅器での蒸留器づくりです。通常、蒸留器は鍛造でつくるもの。鍛造の蒸留器は純銅製ですが、高岡銅器の特徴である鋳造でつくる場合、銅錫合金を使う。銅錫合金製の蒸留器が純銅製と比べて品質に違いがないか、自ら大学のラボで検証したところ、むしろ味いをまろやかにするという結果に。「これはいける!」と手応えを感じ、地元の梵鐘メーカー老子製作所の協力を経て、ZEMONを完成させました。ZEMONは特許を取得しており、老子製作所と権利をシェアすることで高岡銅器の発展にもつなげています。また、富山産ミズナラを使用し、井波の木工技術でつくった熟成樽も三郎丸の特徴のひとつ。樽でも味わいが変わることを感じてほしいです。



これから、どんなことに挑戦したいですか？

前職を生かし、AIを生かした経営に興味があります。また、若鶴酒造は明治時代に旅館をしていた歴史があるため、ウイスキーツーリズムにも取り組んでみたい。蒸留所を見学して、おいしいウイスキーと料理を味わい、宿泊することで砺波市三郎丸の地を深く感じてもらう。蒸留所を中心に、そんなことができれば面白いですね。若鶴がウイスキーづくりをして100周年にあたる2052年、私は65歳。現在、貯蔵しているウイスキーがちょうど30年熟成になるので、それで乾杯して引退するのが夢です。



稲垣 貴彦さんの活動は こちらからチェック！

稲垣 貴彦さんの著書

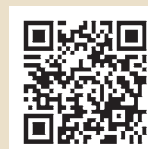
『ジャパニーズウイスキー入門

現場から見た熱狂の舞台裏』

ジャパニーズウイスキーがブームになっている今、その基礎知識から歴史、最新情報までを解説。



三郎丸蒸留所
の情報



事業者 の皆様

夏季の省エネ

に取り組みましょう
全オフィスで消費電力の1%を節電すると、
毎日、家庭約16万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

冷房の省エネ対策



- ✓ 執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。

省エネ効果
約4%

- ✓ 日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。

約4%

- ✓ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、空調を停止する。

約2%

照明の省エネ対策



- ✓ 可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きする。（省エネ効果は照明を半分程度間引きした際の数値）

省エネ効果
約13%

- ✓ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、消灯する。

約3%

機器の省エネ対策



- ✓ 長時間離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。

省エネ効果
約4%

その他の省エネ対策

- ✓ 自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践する。（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングはしない等）



- ✓ 暖房便座は使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にする。



- ✓ 電気ポットを使わないときは、電源をオフにする。



※「省エネ効果」は点灯帯（17時頃）のオフィスの電力使用量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により省エネ効果は変動します。

経済産業省では、企業・家庭向けの省エネ支援を強化しています。企業には省エネ設備への更新や省エネ診断、家庭には高効率給湯器の導入などを支援しています。詳細は「省エネポータルサイト」をご覧ください。



省エネポータルサイト 検索

出典：経済産業省 資源エネルギー庁「夏季のパンフレット オフィス向けリーフレット」
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/data/2025_summer/leaflet_office.pdf（参照2025-06-20）



プロの仕事現場 ～検査員の体験から～



富山地区本部
藤井 洋輔

遮断器の経年劣化による停電事故の発生

6月の深夜、あるお客さまの寮から「電気がつかない」との連絡を受けて、現場に向かいました。

現場に到着すると、先に到着していた電力会社の職員から「この付近一帯が、一時的に停電したが、現在は電気が復旧しており、電力会社の高圧配電線に異常は無かった」と報告を受けました。

その後、お客さまの構内第一柱に設置されている各高圧機器を点検したところ、区分用高圧気中開閉器が「切」の状態となっており、この開閉器用の保護装置が「短絡・過電流」で動作していました。この状況から、お客さま設備の中で事故が発生したことが考えられるため、お客さまのキュービクル式高圧受電設備（以下、キュービクルという。）を検電し、電気が来ていないことなど安全を確認したうえで、内部点検を行いました。キュービクルの扉を開けたところ、焦げた臭いが鼻につき、高圧真空遮断器の下部が黒く焦げていました。他の高圧機器についても点検しましたが、異常は見られず、この遮断器が短絡により焼損したことが停電の原因であると判断しました。その後、お客さまに遮断器の状態についてご説明し、交換が必要なことをお伝えしました。

今回、停電原因となった遮断器が設置されている当該施設は海に近い場所にあり、キュービクルも屋外に設置されていたため、塩分や湿気の影響で、徐々に遮断器の絶縁物が劣化し短絡事故に至ったものと想定されます。

当該お客さまの遮断器は製造より21年経過しており、経年劣化による事故の未然防止のため、当協会から更新についての提案書を提出し、設備の更新をお願いしておりました。

高圧機器で事故が起きると長時間の停電や、付近一帯を停電させてしまう波及事故などに繋がる可能性があります。今回は、幸いにも、高圧引込点に設置されていた区分用高圧気中開閉器の保護装置が正常に動作したことで、波及事故にはなりませんでしたが、お客さまの寮は一時

停電しており、高圧設備の設置環境や経年劣化の状態等を勘案して、事故を未然に防止するため、計画的に高圧機器を更新していくことが大変重要な事であると痛感しました。

当協会では、日頃より電気事故を未然に防止するため異常の早期発見、設備の予防保全に努めております。お客さまにおかれましては、突然の電気事故を未然に防ぐためにも、定期的な設備更新へのご理解とご協力をお願いいたします。また、電気に関して気になることがございましたら、お気軽に当協会の担当者へご相談ください。



高圧真空遮断器の焼損部分

「北陸電気保安協会ミライウムアカデミー」の取り組み



▼詳細はコチラ(HP)



〈ミライウムアカデミーとは〉

当協会では、専門能力の高い職員の育成、並びに地域の電気技術者の創出と育成を目的として「北陸電気保安協会ミライウムアカデミー」を運営しています。地域の電気技術者向けのオープンコースでは、電気関係の法定教育、実践型技術研修、資格支援などの各講習コースを取り揃えています。

50年以上の実績



電気保安分野での50年以上にわたる実績を基に、電気技術者育成のための体系的な学びと実践的な体験ができるプログラムを構築。

充実した設備



最新の受変電設備をの訓練用設備を整え、地域の学生や企業に公開し、人財育成の機会を提供。

講師派遣



電気関係の法定教育や各種セミナー、資格取得勉強会などの開催のほか、産学連携の一環として学校や企業などへトレーニングアドバイザーを派遣し、講師活動を行う。

次世代育成



次世代の電気関係者育成のため、電気教室や職業体験など、幅広い活動を展開。

〈オープンコース一覧〉

主な講習は以下の通りです。

保安管理業務講習	保安管理業務訓練
電験三種基礎講習	高圧受電設備取扱講習(基礎)
保護継電器試験講習(基礎)	保護継電器試験講習(応用)

また、ミライウムアカデミーでは、学校向けの体験学習や企業向けの講習会もオリジナルコースとして開催しております。その他各種コースも実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



学生(工業高校)向け体験学習



次世代向け体験学習



企業向け電験三種基礎講習



オープンコース

電気教室の実施

次世代への電気に関わる教育・啓発を目的として、小学生を対象とした「電気安全教室」を本部・各地区本部で開催しております。



大阪・関西万博に 電気事業連合会が出展!



げんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

2025年4月13日、大阪・関西万博がついに開幕しました。日本で開催される6回目の国際博覧会となり、1970年の大阪万博以来、55年ぶりの大阪での開催となっています。

テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。約160の国と地域、国際機関が参加し、「未来社会の実験場」をコンセプトに、地球規模のさまざまな課題に挑む最先端技術を活用したユニークな展示や体験を通じて、人々の幸福と持続可能な未来社会の実現を目指します。今回は、国内パビリオン17の中から、電気事業連合会が出展する「電力館 可能性のタマゴたち」の展示内容と見どころをご紹介します。

期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)

場所 大阪 夢州(ゆめしま)

大阪・関西万博
の詳細は
こちらから▶



チケットの
購入は
こちらから▶



電力館 可能性のタマゴたち

大阪・関西万博は、電力業界が目指す「カーボンニュートラル社会」や「次世代エネルギー技術」の普及に向け、多くの来場者との対話できる場であり、また、若い世代や子どもたちにエネルギーの重要性を伝え、未来を担う人材育成につなげることが期待されています。

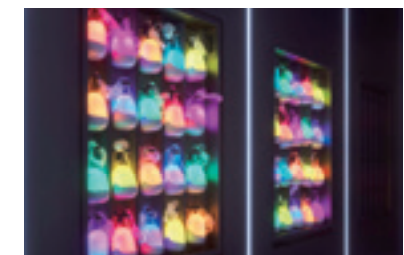
万博会場への最寄駅である大阪メトロ「夢洲駅」から東ゲートを入ってすぐ、万博のシンボルである大屋根リングの手前に見えてくる巨大なタマゴ型のパビリオンが「電力館 可能性のタマゴたち」です。さまざまなかたちの平面で構成される「ボロ

ノイ構造」を採用した外観が特徴で、厚さわずか1ミリのシルバーの膜構造により軽量化をはかっています。あらゆる角度から光を取り込み、天候や時間帯によって多様に見え方が変化することで、自然や周囲の環境とも調和。夜はライトアップも行われ、見る度に印象が変わります。

来館者は世界でここだけのタマゴ型デバイスを手に館内をめぐる。身体を動かしたり、音や光に包まれたり、さまざまな体験型コンテンツを通じて、未来を切り開くエネルギー技術にふれることができます。



電気事業連合会「電力館 可能性のタマゴたち」外観

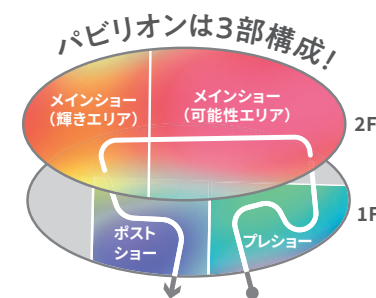


タマゴ型デバイスには、タマゴの殻やホタテの貝殻が使用され、プラスチックの削減にもつながっています。

プレショー、メインショー、ポストショー

館内は小・中学生の子供たちをメインターゲットに、プレショー、メインショー、ポストショーの3つのエリアに分かれています。プレショーではまず、これから始まる体験についての説明があります。メインショー「可能性エリア」では展示物などに連動して、ふるえたり光ったりする「タマゴ型デバイス」を携帯し

ながら館内を自由にめぐることができ、核融合や無線給電など、約30種類のさまざまな未来のエネルギーを「体感」できます。タマゴが点滅しだしたら、そろそろ移動の合図。「輝きエリア」で光と音の没入型展示を体験し、最後のポストショーでは、パネル展示を見ながら各技術の振り返りを行えます。



メインショー(可能性エリア)
卓上に投影された「重水素」と「三重水素」に見立てた光る球を手で集めて、核融合の原理を体験。



メインショー(輝きエリア)
大空間の中に立体配置したLEDの無数の光と音、タマゴ型デバイスが連動する没入型展示。

電気事業連合会とは

電気事業連合会は、日本全国の主要な電力会社10社(北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄電力)によって1952年に設立されました。世界情勢や自然災害など、エネルギーを取り巻く状況が大きく変化する中、エネルギー資源の少ない日本において、これからも電気が当たり前使える社会を維持するため、電力の安定供給とカーボンニュートラルの実現に全力で取り組み、日本経済の発展と国民生活の向上に貢献しています。



電事連Webサイト



電力館特設Webサイト



電事連公式X